

Respite Stellam, Voca Mariam !



小鳩会通信

～私たちのしていることは大海の一滴にすぎないと感じています。

けれど、もしその一滴がなければ、海はその一滴分、確かに少ないということです。～マザー・テレサ

米一合運動のご協力 ありがとうございます

11月25日（土）の米一合運動へのご協力、ありがとうございます。全校の皆さんで持ち寄ったお米を釜ヶ崎まで搬送しました。このお米は釜ヶ崎の三角公園での炊き出しの食材となります。お米と石けんを持っていったときに、ちょうど炊き出しをされていたので、支援先である「ふるさとの家」のスタッフさんをお願いして写真を撮らせていただきました。皆さんの提供して下さったお米がこのような炊き出しに使われており、食べることに困っておられる方々の役に立っていることを覚えておいてください。



サポートチャイルドの紹介

明星中学校と明星高等学校の小鳩会で1名ずつ、日本国際飢餓対策機構の世界里親会を通じて、子どもが学校に行くための支援をしています。この活動は世界の飢餓や貧困地域に住む子どもたちが健やかに成長できるように、子どもたちを取り巻く環境の改善を図りながら、最終的に地域が貧困から卒業できるように推進するものです。支援している2名のチャイルドを紹介します。カノン カハさん（9才）はカンボジアのスバイルー地域に住んでいます。夢は、卒業したら優れた国語の教師になることだそうです。ウィルフレド ロチャ ママニさん（15才）はポリビアのリオ・カイン地域に住んでいます。今すぐ情熱を注いでいることは、サッカーをすることだそうです。サポートチャイルドとともに私たちも成長していきたいですね。今回の献金はこの2人の1年分のサポートにもあてます。どうぞ宜しくお願いします。



近畿カトリック学校 ボランティア生徒の集いの報告

11月11日(土)午後、近畿カトリック学校のボランティア部が集まって活動報告会を明星で実施しました。明星からは、若王寺こども食堂のボランティアに参加したメンバーと、中学3年の東北フィールドワークのメンバーが加わっていただきました。聖堂でお祈りの後、各学校のボランティア活動の報告、小グループに分かれての分かち合いを行い、交流を深めることができました。各学校のボランティアで参考になることが多くあり、本校でもできることを実践していきたいと感じました。



◆今回の献金期間と献金先◆ 12月6日(水)～12月16日(土)

- 日本国際飢餓対策機構(チャイルドサポーター)
- カリタスジャパン(パレスチナ・ガザ地区人道支援)
- 円ブリオ基金センター(赤ちゃんの誕生を支援する)

小鳩会委員は、担任の先生と相談して、献金期間のうち都合のよい機会を活用してクラス献金をお願いします。

12月23日(土) 若王寺こども食堂のボランティアを募集します

- 対象:高校I年生～Ⅲ年生 ※部活単位で参加の場合には中学生も可。
- 申込み方法:宗教部佐々木先生の机(職員室中央入口・鍵箱前)に申込み用紙があります。各自で訪問して、用紙に必要事項を記入してください。**12月11日(月)8:10 〆切。**